

のぼりざか

文責 本渡東小学校校長 金子正樹



本渡東小 HPへ →

子どもの教育・しつけとは

今年も、のぼりざかを読んでいただき、ありがとうございました。「読んでいます。」と声をかけていただいたこともあり、励みになりました。基本的には、家庭教育のヒントになればいいなと書いたつもりですので、お説教がましく感じられたかも知れません。

さて、子どもの教育・指導・しつけにおいて、親や教師の「粘り強く」「継続した」指導は欠かせません。「一貫性」も必要です。そして、そこには、見本となる親や教師の姿が大切になります。

こんなコラムを見つけましたので紹介します。田村一二氏（社会的弱者に対して、生活・教育・福祉等に関する事業に取り組んでいるNPO団体の創設者）のコラムです。



私には6人の息子がいます。彼らがまだ小さいとき、彼らはどうしても履物をきちんとそろえられませんでした。叱ると、そのときはそろえますが、すぐに元に戻ってしまうのです。

それで、私が尊敬する糸賀一雄先生（戦後日本の障害者福祉を切り開いた第一人者として知られ、「社会福祉の父」とも呼ばれます）にお尋ねしました。

私「しつけとはどういうことですか」

糸賀先生「自覚者が、し続けることだ」

私「自覚者といえますと？」

糸賀先生「それは君じゃないか。君がやる必要があると認めているんだろう？それなら君がし続けることだ」

私「息子は？」

糸賀先生「放っておけばいい」

ということで、家内も自覚者の1人に引っ張り込みまして、実行しました。

実際にやってみると、親が履物をそろえ直している目の前で、息子がバンバン脱ぎ捨てて上がっていききました。「おのれ！」とも思いました。しかし、糸賀先生が放っておけとおっしゃったのですから、仕方ありません。

私は叱ることもできず、腹の中で、「くそつたれめ！」と思いながらも、自分の子どもであることを忘れて、履物をそろえ続けました。

すると不思議なことに、ひたすらそろえ続けているうちに、だんだん息子のことも意識の中から消えていって、そのうちに履物を並べるのが面白くなってきたのです。外出から帰ってきても、もう無意識のうちに、「さあ、きれいに並べてやるぞ」と楽しみにしている自分に気がきました。さらに続けていると、そういう心の動きさえも忘れてしまい、ただただ履物を並べるのが趣味というか、楽しみになってしまったのです。

それで、はっと気がついたら、なんと息子どもがちゃんと履物を並べて脱ぐようになっておりました。

孔子の言葉に、「これを楽しむ者に如かず」というのがありますが、私や家内が履物並べを楽しむ始めたとき、息子はちゃんとしてきたわけです。

ここに教育の大事なポイントの一つがあると思います。口先だけで人に、「こら、やらんかい」とやいやい言うだけでは、誰もついてきません。自分が楽しんでこそ、人もついてくるという教育が、私は履物並べから学んだ次第です。

教育とは、まねることから始まります。習字などは、手本通り書くことからスタートするので大変分かりやすいですが、スポーツも勉強も同じです。ボールの投げ方・蹴り方、作文の表現の仕方などあらゆる事は、まねることからスタートします。生活習慣や道徳的な行いも親や教師・兄弟など身近にいる人がお手本となります。子どもたちは、どうすることが良いのかはおおむね分かっていることが多いものです。あいさつすること靴を並べるのはいいことくらいはみんな分かっているのにできていないのです。

子どもさんにこうなって欲しいと思われたら何も言わず親が手本になってみるのもいいかもしれません。「粘り強く」が必要ではありますが・・・。

全てがこのように行く事はないのは分かっていますが、何かのヒントになればと思っています。



令和4年度(第2回) 学校評価 (保護者) 集計

4:よくあてはまる 3:ややあてはまる 2:あまりあてはまらない 1:全くあてはまらない

	評 価 項 目	平均
1	本校の校舎や学校まわりは、美しく、きちんと整理されている。	3.7
2	本校は、学校の方針や教育活動についてわかりやすく伝えている。	3.4
3	本校は、思いやり、感謝の心などの心の教育の充実に努めている。	3.3
4	本校は、子どもたちに分かる授業をしようと努めている。	3.4
5	本校は、健康・安全に関する教育や指導を適切に行っている。	3.4
6	本校は、開かれた学校づくり(地域や家庭との連携強化)に取り組んでいる。	3.3
7	本校職員は、子どもたちを大切に指導している。	3.4
8	本校職員は、保護者、地域の方へ適切に対応している。	3.4
9	本校の子どもたちは、生活の中で正しい言葉づかいをしている。	2.7
10	本校の子どもたちは、元気で明るいあいさつをしている。	2.9
11	本校の子どもたちは、生活の中でできまりをよく守っている。	3
12	本校の新型コロナウイルス感染対策はおおむねできている。	3.4
13	あなたのお子さんは、学校生活を楽しくしている。	3.5
14	あなたのお子さんは、友達と仲良くしている。	3.5
15	あなたのお子さんは、自分には良いところがあると思っている。	3.3
16	あなたのお子さんは、学校の勉強がわかっている。	2.9
17	あなたのお子さんは、家族から言われなくても自分から家庭学習をしている。	2.7
18	あなたのお子さんは、音読や読書をしている。	2.6
19	あなたのお子さんは、進んで外で遊んでいる。	2.9
20	あなたのお子さんは、わからないことやできないことをあきらめないで、がんばっている。	2.9
21	あなたのお子さんは、地域の行事に参加している。	2.6

お忙しい中にアンケートにご協力いただき、誠に有り難うございました。
以下、意見要望等についてです。

言葉づかい・いじめ(見えないいじめ)・あいさつ・宿題の提出などできていない点については、今すぐにも取り組む事が出来ますので、集計ができた時点で、職員で内容を共有し取り組んでいます。

特にいじめについては、大人の見えていないところで起こるものです。定期的にアンケートを行っていますが、訴えることができない子どもさんもいますので、しっかりと一人一人の表情や言動を見ていくことと、ご家庭と連携していくことが重要だと思います。

コロナ対策については、様々なご意見がありました。学校独自では判断することができず申し訳ない気持ちでいっぱいです。よりどころとなる県・市の指示を仰ぎながら取り組んでこざるを得ませんでした。3月14日から一般的にはマスク着用が個人判断とされますが、今のところ県からの通知は何もきていませんので、来た時点でお知らせすることになります。よろしくお願いします。

スクールバスについては、距離が遠いところや低学年の子どもさん等は、席が空いていれば臨機応変にしてもいいのではないかというご意見がありました。昨年も市議に力を貸してもらい相談してきました。しかし、例外を作ることで億規模の予算が発生してしまうので、4kmという基準を外すわけにはいかないということです。本校の例外を認めると天草市全ての学校の例外を認めざるを得なくなり、このような大きなお金がかかるということです。安全面を考えるとどうにかしたいという気持ちはあるのですが、現在のところどうにもならない状況です。

満点賞をもらっていたのに、学級通信で紹介されなかった子どもさんがいたようです。大変申し訳ありませんでした。以後、このようなことがないように気をつけます。

台風や雪の対策など早めに決断して欲しいとありました。最大限早くお伝えしたいのですが、休みにすると困る家庭も多くありますので、できるなら休校等の措置をしたくないという思いで判断しています。そのためどうしても遅くなってしまいました。誠に申し訳ありません。